



[千年の都を育む水・土・緑]  
伏見のまちと酒どころ

歴 005 (H21) / 歴 2-07 (R03)

黄桜酒造（黄桜株式会社）は、創業者・松本治六郎が大正初期に実家の清酒製造業より独立し、中京区木屋町通三条下る材木町で酒販業を営み、大正14年からは舟運で栄えた伏見区新町に移り、昭和8年、伏見区塩屋町にすでにあった酒蔵に移転しました。

昭和42年からは提携している東山酒造（東山酒造有限会社）が、御香宮神社「伏見の御香水」と同じ水脈から湧き出る京都の名水「伏水」を使用して、こだわりの純米酒を醸造しています。

笹屋町通に面して貯蔵庫や作業室が並び、他の関連施設とともに伏見の歴史的な町並みを形成しています。

豪川と近接する南浜通りに面して仕込蔵や宿舍があり、内部は1、2層吹抜で、木造小屋組の大空間に、仕込が終わったタンクや、ろ過機が並んでいます。

隣接する黄桜記念館では、昔の酒造りの工程や道具等お酒に関する資料を展示し、杜氏伝承の歴史と伝統を重んじた仕込みを継承している日本酒の魅力を紹介しています。

笹屋町通り向かいのキザクラカッパカントリーは、酒蔵の名残を所々に残した店内で限定のお酒や京都の地ビール、京料理の数々を楽しむことができます。



仕込作業



キザクラカッパカントリー

〒612-8046 京都市伏見区塩屋町228（黄桜記念館）

電話番号 075-611-4101（代表）

アクセス 京阪電車「中書島駅」徒歩7分

ホームページ <https://kizakura.co.jp/index.html>

<https://higashiyamasake.com/>

黄桜株式会社

東山酒造有限会社